

# 緑豊かな潤いのある 街づくりを目指して

佐賀県造園建設業協会会長 村山 優



新年あけましておめでとうございます。  
県民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えの

こととお慶び申し上げます。  
日頃より、当協会の事業運営につきまして、格別のご協力、ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。  
昨年、例年に引き続き、日本各地において地震や台風により甚大な被害がもたらされました。特に、8月には九州北部に大雨特別警報が発令され、佐賀県では武雄市や大町町を中心に豪雨により甚大

な被害をもたらしました。心からお見舞いを申し上げます。  
また、2020年頃から、日本のみならず全世界において、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、いまだ終息の目途が立たない状況であり、当協会の主だった事業や催しは、軒並み延期又は中止をせざるを得ませんでした。  
このようなか、当協会は、2018年には、「災害時の応援協力及び緑化啓発活動等に関する協定書」を締結し、県が進める緑化活動の推進の一翼を担うことになりました。コロナ禍ではありましたが、2019年から県から同協定の一環として補助金を受

け始めました「花と緑を育む地域づくり推進事業」は、コロナ感染予防対策を行うことで、多くの参加があり、緑化に対する県民の意識を強く感じられ、協会が先頭になって、県土の緑化の推進を図っていく決意を再認識しました。  
また、県は、2024年に「SAGA2024国民スポーツ・全障害者スポーツ大会」の開催に向け、来訪者を花と緑でもてなす取組みを推進し、その取組みが一過性に終わることがないように、県民自ら緑化活動に参画し、県内が花と緑で潤うような地域づくりを県民と一体になって取り組んでいます。  
協会は、その取組の中心と

して、各地域のボランティア団体と協働で県内各所の道路等の公共施設のスペースの草花を植え、市民の憩いの場の創出を図っています。今年も、コロナ禍ではありますが、緑化に対する県民の熱意は高いものがあり、コロナ感染防止対策を十分行うことで、昨年通り活動を行います。  
さらに、当協会は、佐賀県の魅力をなご一層、全国に発信するために、全国都市緑化フェアの佐賀県での初開催を強く要望しているところであります。ご承知の通り全国都市緑化フェアは、花や緑に関する国内最大のイベントであり、「緑のまちづくり推進」「市民の緑化意識の向上」都

市緑化に関する知識の普及」等を図ることにより、緑豊かな潤いのある街づくりの実現を目指して全国各都市で開催されています。  
そのため、本協会は、今まで以上に、県民の緑化意識の向上に努め、佐賀県での全国都市緑化フェアの実現に県民の理解を得るよう努力してまいります。  
最後になりましたが、私たち協会・造園業界は、今後とも「みどり」を通じて、地域に貢献してまいりますので、皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。  
皆様にとりまして、今年がより良い年になりますように、ご祈念申し上げます。

# チャレンジし続けよう

佐賀県造園協同組合理事長 松隈 邦博



令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

当協同組合は今年度49年目を迎えますが、組合員の皆さんには日頃より組合活動、事業推進にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
昨年は、新型コロナウイルス感染症の発生が夏場までは厳しい状況が続きましたが、秋以降はいぶ減少してまいりました。しかしながら、最近新たな変異ウイルス出現により予断を

許さない状況であります。  
7月の定期総会も大幅な縮小での開催となりました。  
そのような中、対面による事業活動もできづらい状況ではあります。購買事業につきましては、何とか前期並みの売り上げ、利益を上げることができました。  
また、組合の主事業であります技術、技能向上を目指した造園技能検定は、8月盆明けの猛暑による熱中症対策として10月に開催させていただき、対策はとれたものと思われま。来年度も9月末の予定で進んでおります。  
コロナ禍により技術、技能

講習会は開催できませんでしたが、(一社)日本造園組合連合会主催による、オンライン技能向上研修も積極的に取り入れながら組合員様のニーズにこたえてゆけるよう情報提供を図ってゆきます。  
一昨年10月、全国技能五輪愛知大会において、造園では当県より2チームが出場し、見事金賞、銀賞をいただくことができました。  
金賞のチーム(事業所、株伊万里春光園)は、コロナ禍で1年延期となった中国、上海での国際大会での上位入賞を目指して現在練習に励んでいます。

とにかく大会が無事に開催されることを願うばかりです。世の中ではキャンプ、グランピング等コロナによる、密をさける、また公園や自宅の庭でリラクセスした時間を過ごすことも多くなったのではないのでしょうか。庭はそのような今のニーズにも必要とされていると確信します。  
新しい庭の提案を、プロである私たちが感性をもつて提供できますよう今後とも努力をしてまいります。  
今年が皆様にとって躍進の年になることを祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

